

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、此の度、下記項目につきまして本年8月4日(土)受付分より検査方法を変更させていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

変更項目

● 820 HIV抗原・抗体《スクリーニング》

検査案内 掲載頁	変更箇所	新	旧
61	検査方法	GLIA [アポットジャパン]	EIA [富士レピオ]
	判定様式	陰性 陽性	陰性 判定保留 陽性

実施期日

- 平成19年8月4日(土)受付日分より



HIV抗原・抗体《スクリーニング》

HIV抗原・抗体《スクリーニング》の精度向上を目的に、現行のEIA法からCLIA法による測定試薬に変更致します。新法は感染初期での検出感度に優れ、特異性も向上致します。試薬の変更に伴い、新法では結果判定に“判定保留”域は設定しておりません。このため、結果判定手順の一部を変更致します。

新旧二法の相関

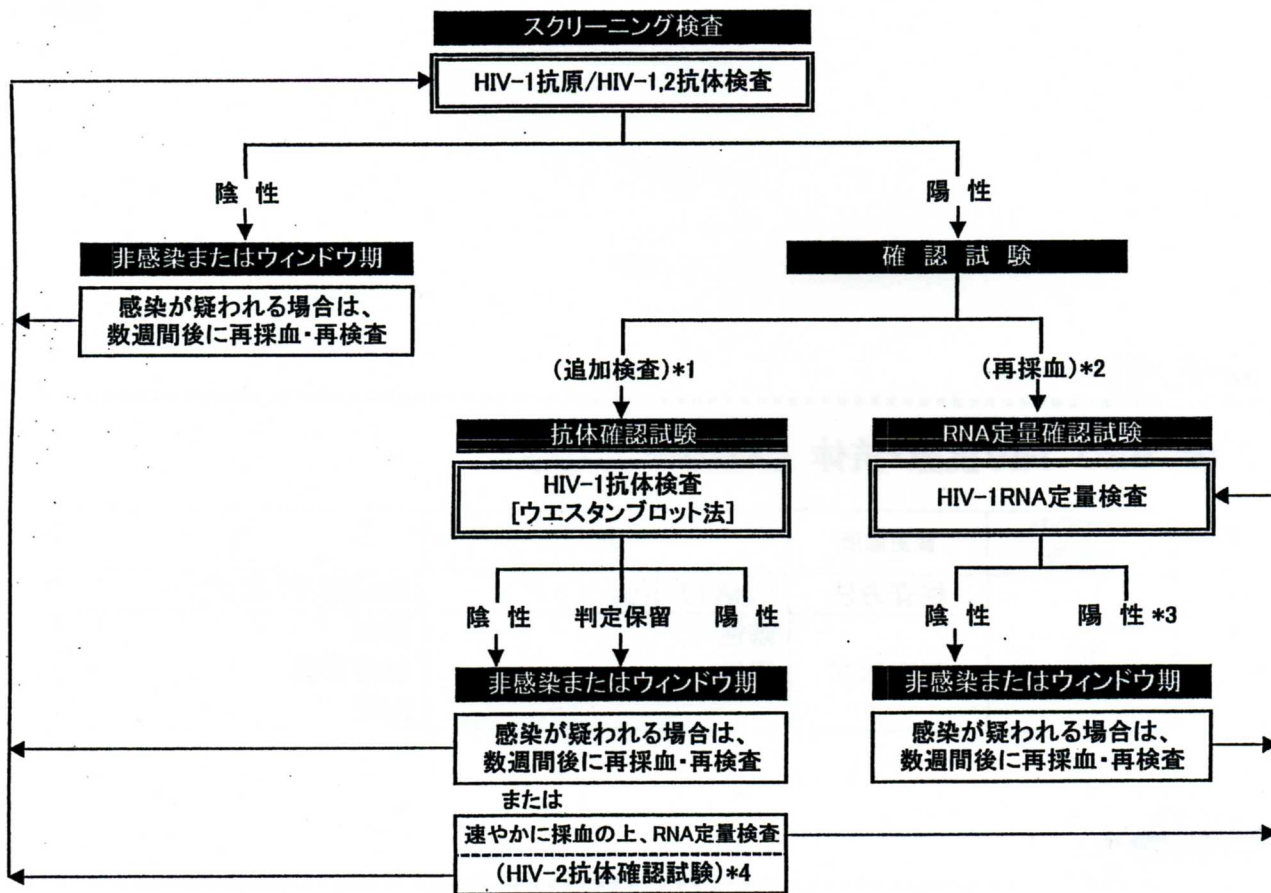
		旧法		
		陽性	陰性	計
新法	陽性	1	1 *	2
	陰性	4 *	2994	2998
	計	5	2995	3000

判定一致率：99.8% (2995/3000)

* ウエスタンブロット法にて陰性を確認

■ 新検査法参考文献 武田悟、他：Prog.Med. 27：425-435, 2007.

HIV感染の検査判定手順



*1:スクリーニング検査と同一の検体にて検査可能です(専用容器での提出をお願い致します)。

*2:RNAの不安定性、コンタミネーション防止のため、再採血が必要です。

*3:RNA検査単独陽性(ウエスタンブロット法陰性)の場合には感染初期の可能性が高いため、数週間後にウエスタンブロット法の再検査を行い、抗体陽転を確認することをお勧め致します。

*4:スクリーニング検査が陽性でHIV-1抗体 ウエスタンブロット法が陰性(または判定保留)であっても、HIV-2抗体陽性の可能性も考えられます。従ってHIV-2抗体ウエスタンブロット法(別途ご依頼により実施)による追加検査をお勧め致します(判定手順はHIV-1同様)。